資料 -5

様式３　施工状況把握チェックシート　　H28.4版

【施工状況把握チェックシート（コンクリート打込み時）】

事務所名				工事名		工区	
構造物名				部位		リフト	
受注者				確認者			
配合				確認日時			
打込み開始時刻	予定		実績	打込み開始時気温		天候	
打込み終了時刻	予定		実績	打込み量(m³)		リフト高(m)	

施工段階	チェック項目	メモ	記述	確認
準備	運搬装置・打込み設備は汚れていないか。		－	
	型枠面は湿らせているか。		－	
	型枠内部に、木屑や結束線等の異物はないか。		－	
	かぶり内に結束線はないか。		－	
	硬化したコンクリートの表面のレイタンス等は取り除き、ぬらしているか。		－	
	コンクリート打込み作業人員(※)に余裕を持たせているか。			
	予備のバイブレータを準備しているか。			
	発電機のトラブルがないよう、事前にチェックをしているか。		－	
運搬	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間は適切であるか。			
打込み	ポンプや配管内面の潤滑性を確保するため、先送りモルタルの圧送等の処置を施しているか。		－	
	鉄筋や型枠は乱れていないか。		－	
	横移動が不要となる適切な位置に、コンクリートを垂直に降ろしているか。		－	
	コンクリートは、打込みが完了するまで連続して打ち込んでいるか。		－	
	コンクリートの表面が水平になるように打ち込んでいるか。		－	
	一層の高さは、50cm以下としているか。			
	2層以上に分けて打ち込む場合は、上層のコンクリートの打込みは、下層のコンクリートが固まり始める前に行っているか。		－	
	ポンプ配管等の吐出口から打込み面までの高さは、1.5m以下としているか。			
	表面にブリーディング水がある場合には、これを取り除いてからコンクリートを打ち込んでいるか。		－	
締固め	バイブレータを下層のコンクリートに10cm程度挿入しているか。		－	
	バイブレータを鉛直に挿入し、挿入間隔は50cm以下としているか。		－	
	バイブレータの振動時間は5～15秒としているか。			
	締固め作業中に、バイブレータを鉄筋等に接触させていないか。		－	
	バイブレータでコンクリートを横移動させていないか。		－	
	バイブレータは、穴が残らないように徐々に引き抜いているか。		－	
養生	硬化を始めるまでに乾燥するおそれがある場合は、シートなどで日よけや風よけを設けているか。		－	
	コンクリートの露出面を湿潤状態に保っているか。		－	
	湿潤状態を保つ期間は適切であるか。			
	型枠および支保工の取外しは、コンクリートが必要な強度に達した後であるか。		－	
要改善事項等				

※コンクリート打込み作業人員　・・・　コンクリートの打込み・締固め作業時の人員のうち、直接作業に携わらない者（監理・主任技術者やポンプ車運転手等）を除いた人員

様式４　施工状況把握チェックシート記載例

H28.4版

【施工状況把握チェックシート（コンクリート打込み時）】

事務所名	○○土木建築事務所				工事名	県道○○線　道路改良工事	工区	1
構造物名	○○橋　A1橋台				部位	たて壁	リフト	2
受注者	○○建設（株）				確認者	主任監督員　○○○○		
配合	27-8-20BB				確認日時	2012/10/11（木）7:30～13:30		
打込み開始時刻	予定	8:00	実績	8:10	打込み開始時気温	22.0℃	天候	曇のち晴
打込み終了時刻	予定	12:00	実績	12:20	打込み量(m³)	80	リフト高(m)	3.0

施工計画書や打合せから事前に把握できた内容をメモする。

臨場時に把握した数値を記入。

施工段階	チェック項目	メモ	記述	確認
準備	運搬装置・打込み設備は汚れていないか。		－	○
	型枠面は湿らせているか。		－	○
	型枠内部に、木屑や結束線等の異物はないか。		－	※1
	かぶり内に結束線はないか。		－	○
	硬化したコンクリートの表面のレイタンス等は取り除き、ぬらしているか。		－	○
	コンクリート打込み作業人員(※)に余裕を持たせているか。		8人	○
	予備のバイブレータを準備しているか。	使用4台 予備1台	使用4台 予備1台	○
	発電機のトラブルがないよう、事前にチェックをしているか。		－	○
運搬	練り混ぜてから打ち終わるまでの時間は適切であるか。		50～60分	○
打込み	ポンプや配管内面の潤滑性を確保するため、先送りモルタルの圧送等の処置を施しているか。		－	○
	鉄筋や型枠は乱れていないか。		－	○
	横移動が不要となる適切な位置に、コンクリートを垂直に降ろしているか。		－	○
	コンクリートは、打込みが完了するまで連続して打ち込んでいるか。		－	○
	コンクリートの表面が水平になるように打ち込んでいるか。		－	○
	一層の高さは、50cm以下としているか。	50cm×6層	50cm	○
	2層以上に分けて打ち込む場合は、上層のコンクリートの打込みは、下層のコンクリートが固まり始める前に行っているか。		－	○
	ポンプ配管等の吐出口から打込み面までの高さは、1.5m以下としているか。		約2m→1m以下	※2
	表面にブリーディング水がある場合には、これを取り除いてからコンクリートを打ち込んでいるか。		－	○
締固め	バイブレータを下層のコンクリートに10cm程度挿入しているか。	50cm,60cm位置にテープ	－	○
	バイブレータを鉛直に挿入し、挿入間隔は50cm以下としているか。	型枠に50cm間隔でテープ	－	○
	バイブレータの振動時間は5～15秒としているか。	目安8秒	6秒～10秒	○
	締固め作業中に、バイブレータを鉄筋等に接触させていないか。		－	○
	バイブレータでコンクリートを横移動させていないか。		－	○
	バイブレータは、穴が残らないように徐々に引き抜いているか。		－	○
養生	硬化を始めるまでに乾燥するおそれがある場合は、シートなどで日よけや風よけを設けているか。		－	○
	コンクリートの露出面を湿潤状態に保っているか。	表面養生剤を塗布	－	○
	湿潤状態を保つ期間は適切であるか。	10日間	10日間以上	○
	型枠および支保工の取外しは、コンクリートが必要な強度に達した後であるか。	5.0N/mm²	5N/mm²以上	○

養生については、後日記入をする。

要改善事項等	※1　型枠内部に結束線（3本）が落ちていたため，打込み前に取り除かせた。 ※2　排出口から打込み面までの高さが，明らかに1.5mを超えていたため，口頭で注意したところ，是正された。 上記※1，※2についての是正を確認するため，次回打込み時も施工状況把握を行うことを工事打合せ簿にて通知する。

※コンクリート打込み作業人員　・・・　コンクリートの打込み・締固め作業時の人員のうち、直接作業に携わらない者（監理・主任技術者やポンプ車運転手等）を除いた人員

記録シート①

サンプル

リフト図

○基本情報

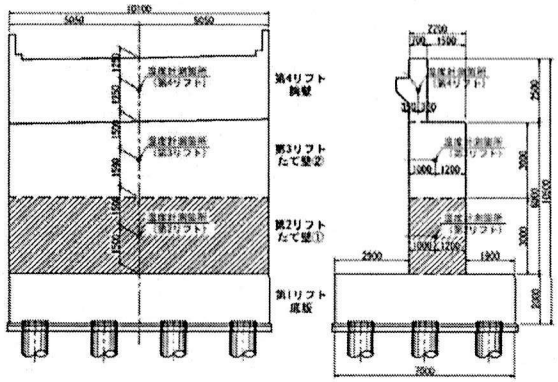
発注者(事務所名)	山口土木建築事務所	受注者	○○建設(株)		
路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1 ～ H19.3.31		
工事名	道路改良工事			工区	1
施工場所	山口市○○	緯度	34度42分22秒	経度	136度55分42秒
構造物名	○○橋				
構造物詳細	A1橋台	リフト名	第2リフト		

リフト毎に記入

構造物の場所を緯度経度で記入

打込みリフト図

正面図　　側面図



○構造

構造物種類	橋台
構造形式	RC構造
打込み部位	たて壁

○寸法

厚さ	2.20 m
長さ（幅）	10.10 m
リフト高	3.00 m

○配筋

主鉄筋	前面	D29 @125
	背面	D29 @125
配力筋	前面	D19 @125
	背面	D19 @125
設計純かぶり		4cm以上
鉄筋量(mm2)		7,449mm2

補強鉄筋のタイプを選択

○ひび割れ抑制対策

補強鉄筋	タイプA
配筋状況（タイプA）	D19 @125
タイプA段数	3段
配筋状況（タイプB）	
誘発目地間隔	m
断面欠損率(%)	%
膨張材	kg/m3
補強鉄筋量(mm2)	13,752 mm2
その他の対策	

○鉄筋比

鉄筋比（対策前）	0.11 %
鉄筋比（実　施）	0.30 %

1段、2段等を記入

誘発目地を設置した場合は、その間隔を記入

膨張材を使用した場合に記入

鉄筋径・ピッチを選択または記入

その他対策の具体名を記入

様式 1-1

記録シート②

サンプル

コンクリート打込み管理表

○基本情報

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1 ～ H19.3.31		
工事名	道路改良工事			工区	1
構造物名	○○橋				
構造物詳細	A1橋台	リフト名	第2リフト		

配合計画書に記載された産地を記入

○コンクリート

材料・配合	呼び強度	27 N/mm2	スランプ	8 cm	骨材最大寸法	20 mm
	水セメント比	55 %	単位セメント量	300 kg/m3	粗骨材産地	
	セメント種類	高炉B種	セメント会社	○○セメント(株)		
	混和剤	AE減水剤	混和材	---	細骨材産地	
	生コン工場	○○(株)　○○工場				

品質管理試験	試料採取時期	打込み開始時		150m3打込み時又は午後		300m3打込み時		試験許容値
	スランプ	9.0	cm	---	cm	---	cm	8±2.5cm
	空気量	5.5	%	---	%	---	%	4.5±1.5%
	塩化物イオン量	0.03	kg/m3	---	kg/m3	---	kg/m3	0.30 kg/m3以下
	コンクリート温度	24.0	℃	---	℃	---	℃	
	打込み時外気温	22.0	℃	---	℃	---	℃	
	7日強度	19.0	N/mm2	---	N/mm2	---	N/mm2	
	28日強度	31.0	N/mm2	---	N/mm2	---	N/mm2	

塗装合板、無塗装合板、鋼製型枠、等を記入

処理剤(名称)、凝結遅延剤＋高圧洗浄、チッピング、等を記入

○運搬・打込み・締固め

打込み日		2006年5月25日	天気	○のち晴	下側リフト打込み日	2006年5月10日
型枠種類		塗装合板	下側リフト打継目処理	処理剤（○○）	打継ぎ間隔	15 日
運搬	現場までの運搬時間	20 分	現場待機時間	0 分	荷卸し時間	20 分/台
	現場内運搬方法	ポンプ（配管なし）	ポンプ圧送距離	m	ポンプ車台数	1 台
打込み	開始時刻	8:10	終了時刻	11:00		
	リフト高	3.0 m	打込み量	70.0 m3	打込み速度	1.0 m/h
締固め	バイブレータ台数	3 台	バイブレータ人数	4	バイブレータ予備	1 台
	ホース筒先	1 人				

「ポンプ(配管あり)」の場合記入

○コンクリート温度履歴

初期温度	24.0 ℃	最高温度	48.0 ℃	温度上昇量	24.0 ℃
最高温度に到達した時間	30 時間後				

○養生

脱型日	2006年6月5日	残置期間	11 日
養生方法	型枠面	型枠＋ブルーシート	
	打込み面	養生マット＋ブルーシート＋散水	
養生（湿潤状態）期間	7 日		

様式 1-7

サンプル

記録シート③

コンクリート打込み管理表（温度計測その1）

○基本情報

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1 ～ H19.3.31
工事名	道路改良工事	工区	1
構造物名	○○橋		
構造物詳細	A1橋台	リフト名	第2リフト

日時		天気	計測時刻	コンクリート温度	外気温	備考
2006/5/25		晴	15:30	38.0 ℃	23.0 ℃	養生開始時
(木)						
2006/5/26	朝	晴	8:00	47.0 ℃	22.0 ℃	
	昼	晴	13:00	47.5 ℃	26.0 ℃	
(金)	夕	晴	17:00	48.0 ℃	23.0 ℃	
2006/5/27	朝	晴	8:00	45.0 ℃	22.0 ℃	
	昼	晴	13:00	43.0 ℃	26.0 ℃	
(土)	夕	晴	17:00	42.0 ℃	23.0 ℃	
2006/5/28	朝	晴	9:30	38.0 ℃	22.0 ℃	
	昼	晴		℃	℃	
(日)	夕	晴		℃	℃	
2006/5/29	朝	晴	8:00	30.0 ℃	22.0 ℃	
	昼	晴	13:00	29.0 ℃	26.0 ℃	
(月)	夕	晴	17:00	28.0 ℃	23.0 ℃	
2006/5/30	朝	晴	8:00	27.0 ℃	22.0 ℃	
	昼	晴	13:00	26.5 ℃	26.0 ℃	
(火)	夕	晴	17:00	26.0 ℃	23.0 ℃	
2006/5/31	朝	晴	8:00	25.5 ℃	22.0 ℃	
	昼	晴	13:00	25.0 ℃	26.0 ℃	
(水)	夕	晴	17:00	24.5 ℃	23.0 ℃	
2006/6/1	朝	晴	8:00	24.0 ℃	23.0 ℃	
	昼	晴	13:00	23.9 ℃	27.0 ℃	
(木)	夕	晴	17:00	23.8 ℃	24.0 ℃	
2006/6/2	朝	晴	8:00	23.7 ℃	23.0 ℃	
	昼	晴	13:00	23.6 ℃	27.0 ℃	
(金)	夕	晴	17:00	23.5 ℃	24.0 ℃	
2006/6/3	朝			℃	℃	
	昼			℃	℃	
(土)	夕			℃	℃	
2006/6/4	朝			℃	℃	
	昼			℃	℃	
(日)	夕			℃	℃	
2006/6/5	朝	晴	8:00	22.8 ℃	23.0 ℃	
	昼	晴	13:00	22.7 ℃	27.0 ℃	
(月)	夕	晴	17:00	22.6 ℃	24.0 ℃	
2006/6/6	朝	晴	8:00	22.5 ℃	23.0 ℃	
	昼	晴	13:00	22.4 ℃	27.0 ℃	
(火)	夕	晴	17:00	22.3 ℃	24.0 ℃	
2006/6/7	朝	晴	8:00	22.2 ℃	23.0 ℃	
	昼	晴	13:00	22.1 ℃	27.0 ℃	
(水)	夕	晴	17:00	22.0 ℃	24.0 ℃	
2006/6/8	朝	晴	8:00	21.9 ℃	23.0 ℃	
	昼	晴	13:00	21.8 ℃	28.0 ℃	
(木)	夕	晴	17:00	21.7 ℃	25.0 ℃	
2006/6/9	朝	晴	8:00	21.6 ℃	23.0 ℃	
	昼	晴	13:00	21.5 ℃	28.0 ℃	
(金)	夕	晴	17:00	21.4 ℃	25.0 ℃	
2006/6/10	朝	晴	8:00	21.3 ℃	23.0 ℃	
	昼	晴	13:00	21.4 ℃	28.0 ℃	
(土)	夕	晴	17:00	21.5 ℃	25.0 ℃	
2006/6/11	朝			℃	℃	
	昼			℃	℃	
(日)	夕			℃	℃	

打込み日の計測は、原則として「仕上げ時」または「養生開始時」に行い、備考欄に計測時期を記入する。
なお、これらのタイミングで計測できなかった場合でも、計測時期が分かるように備考欄に記入する。(例:養生開始後、3時間経過後)

打込みから10日～14日後を目途に、受注者の判断で計測回数を1回/日に減らすことができる。
(判断基準の例としては、コンクリート内部温度が安定したとき、等がある)

様式 1-8

サンプル

記録シート④

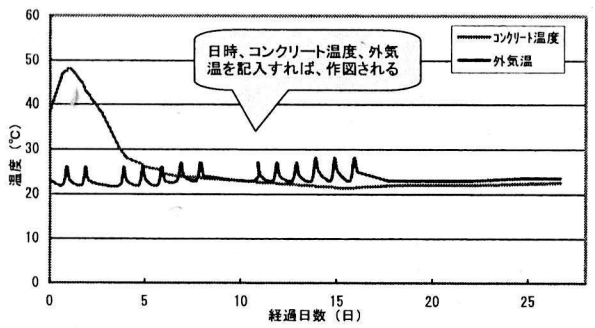
コンクリート打込み管理表（温度計測その2）

○基本情報

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1 ～ H19.3.31
工事名	道路改良工事	工区	1
構造物名	○○橋		
構造物詳細	A1橋台	リフト名	第2リフト

日時		天気	計測時刻	コンクリート温度	外気温	備考
2006/6/12	朝	晴	8:00	21.9 ℃	23.0 ℃	
	昼			℃	℃	
(月)	夕			℃	℃	
2006/6/13	朝	晴	8:00	22.0 ℃	23.0 ℃	
	昼			℃	℃	
(火)	夕			℃	℃	
2006/6/14	朝	晴	8:00	22.0 ℃	23.0 ℃	
	昼			℃	℃	
(水)	夕			℃	℃	
2006/6/15	朝	晴	8:00	22.0 ℃	23.0 ℃	
	昼			℃	℃	
(木)	夕			℃	℃	
2006/6/16	朝	晴	8:00	22.0 ℃	23.0 ℃	
	昼			℃	℃	
(金)	夕			℃	℃	
2006/6/17	朝			℃	℃	
	昼			℃	℃	
(土)	夕			℃	℃	
2006/6/18	朝			℃	℃	
	昼			℃	℃	
(日)	夕			℃	℃	
2006/6/19	朝	晴	8:00	22.3 ℃	23.5 ℃	
	昼			℃	℃	
(月)	夕			℃	℃	
2006/6/20	朝	晴	8:00	22.4 ℃	23.5 ℃	
	昼			℃	℃	
(火)	夕			℃	℃	
2006/6/21	朝	晴	8:00	22.5 ℃	23.5 ℃	
	昼			℃	℃	
(水)	夕			℃	℃	

コンクリート温度・外気温計測結果



様式 1-9

記録シート⑤

サンプル

ひび割れ調査票（その1）

○基本情報

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1 ～ H19.3.31		
工事名	道路改良工事			工区	1
構造物名	○○橋				
構造物詳細	A1橋台	リフト名	第2リフト		

○種類別ひび割れの有無

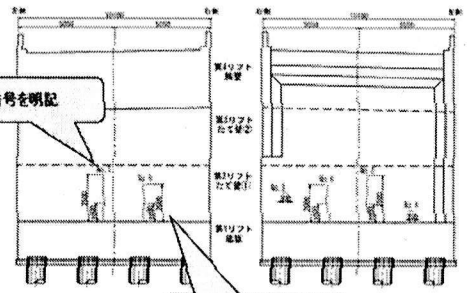
ひび割れの有無を選択

温度ひび割れの有無	有	沈みひび割れの有無	有	（　　）ひび割れの有無	

○ひび割れ概要

概要図

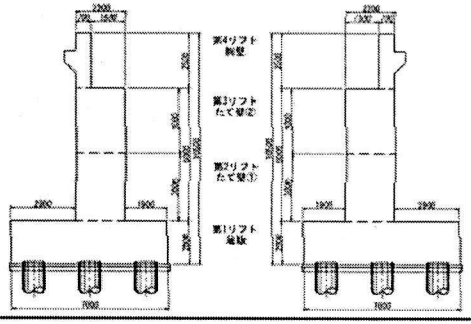
正面図　　背面図



ひび割れ番号を明記

ひび割れ箇所が分かるように

左側面図　　右側面図



記録シート⑥

サンプル

ひび割れ調査票（その2）

○基本情報

路線・河川・地区等	山口宇部線	工期	H18.4.1 ～ H19.3.31		
工事名	道路改良工事			工区	1
構造物名	○○橋				
構造物詳細	A1橋台	リフト名	第2リフト		

○ひび割れ状況

	No.	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11
ひび割れ	位置	正面	背面	背面	背面	正面	背面					
	種類	貫通	貫通	沈み	沈み	貫通	貫通					
	方向	鉛直	鉛直	水平	水平	鉛直	鉛直					
調査日	2006/6/5	0.15mm	0.15mm	0.20mm	0.15mm							
	2006/6/12	0.15mm	0.15mm	0.20mm	0.15mm							
	2006/6/19	0.15mm	0.20mm			0.10mm	0.10mm					
	2006/6/26	0.20mm	0.20mm			0.10mm	0.10mm					
	2006/7/3	0.25mm	0.20mm			0.10mm	0.10mm					
	2006/7/10					0.15mm	0.10mm					
	2006/7/17					0.15mm	0.10mm					
	備考	2006/6/5　初期観察実施、No.1水漏れあり										
補修	補修の有無	有	有	有	なし	有	なし					
	補修日	2006/7/25	2006/7/25	2006/7/25		2006/7/25						
	補修方法	注入	注入	注入		注入						
	備考	No.1、2、3、5：軟質系エポキシ樹脂注入										

ひび割れの位置、形状、方向を選択

商品名でも良い